北の住まいるタウン

北の住まいるタウンレポート Vol.3

令和４年度
室蘭市事例見学ツアーの開催報告

令和４年度の２回目の｢事例見学ツアー｣を室蘭市で開催しました。

室蘭市でのツアーのテーマは「公共施設の機能再編」。

公共施設の再整備事業に関して、機能の複合化の検討、存廃を含む市民意見集約、財源確保、事業費の抑制等の創意工夫についてガイダンスでお話を伺いました。その後、「生涯学習センター きらん」「道の駅 みたら室蘭」「㊆栗林商会アリーナ」「環境科学館・図書館 えみらん 」をバスに乗って視察し、各現場をご担当されている皆さまにご案内いただきました。

日 時

令和４年 10 月 19 日（水）
10:30〜16:00

参加者

23 名

ガイダンス

きらんの事業概要や事業手法を中心にご担当者からのガイダンス

生涯学習センター きらん

世代や分野を超えた様々な人が『集まり』『出会う』多世代交流の拠点

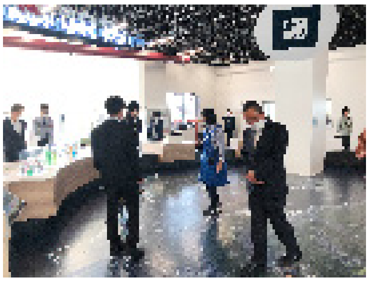
道の駅 みたら室蘭

2019年リニューアルした室蘭観光の拠点 白鳥大橋記念館を併設

㊆栗林商会アリーナ

老朽化や耐震不足の複数のスポーツ施設を集約・整備

環境科学館・図書館 えみらん



科学やものづくりなど室蘭ならではの資源を活かした知的創造空間

参加者の声

DBO 方式に関心があった。当町のまちづくりに活かしたい

最近整備された施設の見学や整備方針を伺うことができ，当市の計画等においても参考になった

ガイダンスの説明資料がとても良い。知りたい情報を網羅している

※参加者アンケートより

PICK UP!

FKホールディングス生涯学習センター きらん

子どもが集う「キッズパーク」、市民の学習をサポートする「ブックパーク」、様々な活動の場として利用できる「貸室」、地域の市民活動の拠点となる「市民活動センター」、その他「交流ひろば」「カフェ」などの機能を持つ複合公共施設として 2018 年 12 月にオープン。事業の推進にあたっては市長・特別職を含む部長職以上で構成される「政策推進本部会議」で各部局の横断的共通課題として協議を進めたことが大きな力を果たしました。また、複合施設としてどのような機能を盛り込むことが有効かの検討については、様々な形で市民意見を集約しながら進めました。

事業手法としては DBO 方式を採用。設計、建設、維持管理・運営を一括して民間に委託し、資金調達は行政が行いました。付帯事業としてビジネスホテル・駐車場があります。

㊆栗林商会アリーナ

老朽化した体育館を他のスポーツ施設と集約・移転し、2022 年 4 月にオープン。都市構造再編集中支援事業交付金等を活用して整備しました。キッズスペースのある交流サロンやトレーニング室等を配置し、子どもからお年寄りまで誰もが行きたくなる体育館を目指しています。

DENZAI環境科学館・室蘭市図書館 えみらん

老朽化のため閉館した青少年科学館と市立室蘭図書館本館を受け継ぐ合築施設。

科学館では環境省の支援策を活用し環境学習施設へ改築、図書館についても、集約化による相乗効果や設備等の効率化を図り、更なる市民サービスの向上を目指して整備しました。

「北の住まいるタウン」の取組の内容についてまとめたガイドブックをWEBでご紹介しています

発行：北海道（建設部 建設政策局 建設政策課）電話 011-204-5284（担当：内山）
編集：「北の住まいるタウンに係る普及啓発業務」受託事業者：株式会社石塚計画デザイン事務所
http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kks/kitasuma_top.htm
2022 年 11 月発行

facebookページもご覧ください
「北の住まいるタウン」